

<b>地 理 ( Geography )</b>		1年・通年・2単位・必修 電子制御工学科・情報工学科 物質化学工学科 担当 <sup>かど</sup> <sup>かつあき</sup> 角 克明
〔準学士課程(本科 1-5年) 学習教育目標〕 (1)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕	〔JABEE 基準〕
<p>〔講義の目的〕          私たちが生活している地表ではさまざまな人間活動が営まれ、壮大な自然環境がこれを覆っている。この科目では自然環境や人間活動のしくみを理解し、地理的な視点を養い、現代社会に生きてゆくために必要な地理的知識を身につけてゆきたい。</p>		
<p>〔講義の概要〕          地表にはさまざまな地理的な現象がみられ、諸問題も存在する。これらをテーマ別に概説したうえで、その発生原因を究明し、できれば対応策・解決策を考えてみたい。そのため、必要となる地理的な視点・考え方、場合によっては技術的な手法についても学習したい。同時に、いろいろな「地理的発見」を導き出してゆく。諸君の積極的な参加が求められる。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕          必ずしも教科書のページ順に講義を進めてゆくわけではなく、教科書をこえた内容にもせまる(教科書記載内容がすべてであるという「教科書神話」は通用しない)。そのため、講義内容の把握・理解には当然のこととはいえ、常に心がけておくこと(お互いの学習環境にも配慮しよう)。地図帳・地形図は基本的に毎回持参すること。講義には積極的に参加する姿勢が大切で、とくに地理実習・課題などではこのことが大きく影響する。なお、色鉛筆(12色程度)と定規(目盛りつき)を使用する日があるので、準備してほしい(いままで使用していたものでよい)。期日は別に指示する。</p>		
<p>〔到達目標〕  <b>前期中間・期末試験 後期中間・学年末試験</b>：講義内容(基本的な地理的事象・現象)の理解。          つぎの点も各自の自己評価のもとで到達目標とする。基本的に毎週の講義の最初に紹介する「最新の地理事情(地理的話題)」(講義項目・内容には未記載)、夏休みレポート、地理実習などを通して、地理的な基礎を理解し地理的思考力を習得するとともに、地理的情報をさまざまなかたちで表現できるようにしたい(一部は担当者の評価対象である)。</p>		
<p>〔評価方法〕          定期試験・70%、地理実習などの課題(講義へのとり組みを含む)・30%を基本とし、総合評価する。また、他人の学習環境をみだす行為(私語など)には厳正に対処し、改善されないときは成績に反映させる。なお、提出を求められた課題は正確・ていねいに完成させ、必ず自主的に提出すること(提出期日や条件などの厳守が有利にはたらく)。とくに、夏休みレポートと地理実習(3)は評価が高い。詳細はオリエンテーションで通達する(定期試験答案返却時にも詳細を報告する予定である)。</p>		
<p>〔教科書〕          『新詳地理B』初訂版、帝国書院。 『新詳高等地図』初訂版、帝国書院。          〔補助教材・参考書〕          1：25000地形図「大和郡山」、国土地理院発行。 配付資料(適時配付する)。          地形図はできるだけ折り曲げないで、最初の講義に持参すること(折り方を学習する)。          先輩たちによる『発見の記録』ほか(図書館所蔵)を夏休みまでに必ず閲覧しておくこと。</p>		
<p>〔関連科目〕          歴史は時間的な流れを対象にするが、地理は空間的な広がりを見る。この空間は時間の経過とともにたえず変化しているので、両者を完全に区別して考えることはできない。したがって、2年次以降の歴史と関連させて学習する必要がある。自然環境に関する分野では地学を中心とする理科の分野と関連する。なお、地理的なしくみや考え方(法則性)は専門分野でのオリジナルな発想へのヒントとなる可能性をもつ。</p>		

## 講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	オリエンテーション	この科目に関するオリエンテーション。 <u>地形図を持参すること。</u>	
第2週	地形図(1)	1:25000 地形図を中心とした地形図の基礎を学習。	
第3週	地形図(2)	地形図内容を正確に読みとる技能の習得。	
第4週	地形図(3)	地形図の応用分野への接近。	
第5週	さまざまな地図	各種図法によって描かれた世界図の特色を説明。	
第6週	地理実習(1)	統計数値データの地図化。	
第7週	地域調査	地域調査法の習得。	
第8週	世界地誌(1)	東南アジア諸国を通して見た異文化世界の理解(夏休み中に世界地誌をテーマとする「夏休みレポート」を実施予定)	
第9週	世界地誌(2)		
第10週	世界地誌(3)		
第11週	世界地誌(4)		
第12週	世界の自然環境(1)	世界の気候をそれぞれ把握し、地球規模で各地にその気候があらわれる要因の理解。われわれの生活環境が大きく気候に適応していることや世界の文化が気候に反映されて形成されていることなどを学習。	
第13週	世界の自然環境(2)		
第14週	世界の自然環境(3)		
第15週	世界の自然環境(4)		
前期期末試験			
第16週	地理実習(2)	統計数値データ以外の地理的情報から主題図を作成。	
第17週	世界の自然環境(5)	世界の気候をそれぞれ把握し、地球規模で各地にその気候があらわれる要因の理解。われわれの生活環境が大きく気候に適応していることや世界の文化が気候に反映されて形成されていることなどを学習。	
第18週	世界の自然環境(6)		
第19週	世界の自然環境(7)		
第20週	村落と都市(1)	われわれが居住する「集落」を「村落」と「都市」にわけて、地理的特色を見出してゆく。	
第21週	村落と都市(2)		
第22週	村落と都市(3)		
第23週	村落と都市(4)		
第24週	都市問題(1)	先進国における都市問題の概説。	
第25週	都市問題(2)	発展途上国における都市問題の概説。	
第26週	都市問題(3)	先進国と発展途上国における都市問題の類似点と相違点。	
第27週	余暇活動の地域性	余暇活動の実態とその地域性の把握。	
第28週	世界地誌 応用編	『地理報告』第17輯(夏休みレポート集成)の作成とその評価。	
第29週	地理実習(3)	都道府県レベルにおける日本地誌の把握と地理的発見。	
第30週	まとめ	総まとめ。	
学年末試験			

\* 4：完全に理解した，3：ほぼ理解した，2：やや理解できた，1：ほとんど理解できなかった，0：まったく理解できなかった。  
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)